

新世紀とやま文化振興計画（平成 30 年改定版） 後期重点施策について

○**県文化審議会**（木下 晶 会長）に**諮問**（R4.4.28）

令和5～8年度に取り組む**重点施策**について、審議

○**答申の手交**（R5.6.2）

→今回の答申結果を踏まえ、**速やかに後期重点施策**
を策定することとした。

◆後期重点施策の3つの柱と主な取組み

I. 文化を創造・鑑賞・支援する人材の充実・育成

芸術文化等にふれあう機会の充実、

子どもや若手芸術家の育成、キュレーター等の人材育成等

II. 文化芸術による地域活性化の推進

文化観光の推進、国際的な芸術文化振興事業の充実と発信、
文化力を活かした産業振興等

III. ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた芸術文化の振興

美術館等について、ICT技術の活用による展示機能の強化
やPRの充実、ユニークベニューとしての活用等

特に、

「文化観光の推進」や「芸術文化の発信」、

「多言語化の充実」に取り組むなど、

県民のウェルビーイングに資する、文化振興施策

を展開